JPX
東証上場
証券コード:3435

第55期 第2四半期のご報告
2018年4月1日～2018年9月30日

株主通信

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を支えています。

NEW

施工完了を簡単に目視確認できる
懸垂物取付け用あと施工アンカー
「イージーアイアンカー EZI」

サンコーテクノ株式会社

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
ー 人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす ー

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。

「一般社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理17000』の第1号に認定

S.T.G VISION 2020（サンコーテクノグループ）

私たちは **独自の締結（ファスニング）システムで、**
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…
お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“SANKO ブランド＝人”を実現します

お取引先様へ…
共育・共創・共生を
キーワードに共鳴し合える
関係を構築します

社会へ…
事業を通じて、安心して
暮らせる豊かな
環境づくりに貢献します

株主様へ…
持続的な利益創出と
株主還元により企業価値の
向上を図ります

社員へ…
自身の成長とチームの
達成感（喜び）を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

SDGsへの取組み

当社グループは、SDGs（持続可能な開発目標）についても、
様々なステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

FLAGSHIP

「あと施工アンカー」とは?

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。
当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。

釘

あと施工アンカー

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております

自動販売機の固定に

フェンスの取付けに

ジェットファンの取付けに

室外機の取付けに

ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社の2019年3月期第2四半期（2018年4月1日～2018年9月30日）の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

代表取締役社長
洞下英人

ステークホルダーの皆様との共創により、持続的価値創造基盤を盤石なものにしてまいります。

2019年3月期第2四半期連結業績と通期業績・配当見通しにつきまして

当社グループの2019年3月期第2四半期は、大阪府北部地震や西日本豪雨、台風21号および北海道胆振東部地震の影響等から、地方圏におけるあと施工アンカーの販売が停滞したものの、都市圏で土木関連の完成工事高が大幅に増加したほか、電動油圧工具の売上が回復したことなどから、売上高は概ね期初予想通りの7,592百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。営業利益につきましては、前期から続く原材料費の高止まりを受けた価格転嫁が進捗したほか、為替変動がプラスに影響したことなどから、同17.0%増の493百万円となりました。
2019年3月期通期の業績見通しは、期初発表通り、売上高は前連結会計年度比2.9%増の16,800百万円、営業利益は同3.5%増の1,200百万円を予想しております。
また、2019年3月期の1株当たり期末配当金は、前期比2円増配の、24円とさせていただく見通しです。
当社グループは引き続き、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。

事業環境認識

各種設備工事やインフラ・土木関連需要は、首都圏を中心に更なる拡大を期待できるほか、足元で業績に寄与し始めた2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連の案件も、今後は加速度的に増加する見込みです。地方圏においても、一連の災害の復旧・復興に伴い需要が回復・拡大する見込みであるほか、今後の災害耐性の強化へ向けた新たな需要も予想されております。当社グループは、こうした事業機会を着実に捉え、通期計画を着実に達成するとともに、更なる上積みを図ることで、2020年までの売上高成長率5.0%以上（年平均）の達成に向けて邁進いたします。同時に、2020年までの中期戦略目標である「外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制の構築」へ向けた改革を今後も推進することで、長期安定成長と持続的な価値創造への道筋を確かなものにしてまいります。

具体的施策

収益の柱であるファスニング事業については、中期経営計画の最重点施策として取り組んできた営業改革と開発改革を、更に拡充してまいります。大規模ユーザー向けの営業強化策である「CPM（クロスプロジェクトマネジメント）」では、今年度より人員を倍増し、「ブランド力」「インフラ・土木の割合」「スピード」の3つの“アップ”への取組みに注力した結果、首都圏の土木関連事業を堅調に拡大することができました。また、4月に創設した技術研究所では、中長期的な開発テーマに集中して取り組んだ結果、開発のスピードアップの面で効果が現れ始めております。今後もこうした施策のほか、地方圏における「現場力アップ」の取組みも継続することで、収益機会の着実な取り込みと、新たな市場の創出に注力してまいります。

機能材事業については、ファスニング事業と並ぶ収益源に育てるべく、事業ポートフォリオ改革の一環として、関連会社とのシナジー強化を進めております。電動油圧工具に

技術研究所による取組みが進捗しております

新ものつくりテクニカルセンター

技術研究所 2018年4月、新ものつくりテクニカルセンター内に創設

- **絞り込んだ中長期課題に集中的に取り組む専門家集団**
- **3~5年先の市場を見据えた製品開発に打ち込む**

開発事例
「イージーアイアンカー EZI」
→ 表紙およびP.08トピックスご参照

中長期の開発テーマにおいて、スピーディーに結果を出す

ついては九州地区の営業を(株)IKKとの共同販売により強化中であるほか、電子基板関連では(株)スイコーとの連携を深め、今後のセンサーやIoT関連事業を見据えた取組みを進めております。成長ドライバとして注力しているアルコール検知器については、上半期は前期までの急成長の反動等もあり前年同四半期比で微減となりましたが、引き続き高い成長ポテンシャルを見込めることから、従来の物流分野に加え、バス・タクシー・鉄道分野での拡販活動を継続するほか、市場のボリュームゾーンに合わせたラインアップを拡充し、更なるシェア拡大を図ります。

海外事業については、上半期はアジアであと施工アンカーの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同四半期比2.7%増の480百万円となりました。当社グループの海外売上高の目標である10億円の達成を今期中に実現するべく、下半期も引き続きアジアでのあと施工アンカー需要を着実に取り込むとともに、電動油圧工具の海外販売にも注力してまいります。

●海外売上高の推移

(単位:百万円)

ステークホルダーの皆様との共創により、持続的な価値創造を実現してまいります

上記のような国内外での取組みにおいては、今後もステークホルダーの皆様との「Win-Winの関係」を構築し、価値を共創することをモットーにしてまいります。具体的には、顧客や販売拠点、取引先の皆様とは、「CPM」や「現場力アップ」の取組みによってメリットを共有してまいります。また、競合他社との関係においては、短期的なシェア争いではなく、当社が土木分野を率先して開拓し、アンカー市場を拡張することで、共創を実現してまいりたいと考えております。そのためには当社自身が進化し続けていく必要があることから、今後も「5S(整理、整頓、清掃、清潔、習慣)改善活動」を「シンプル・スピード・シナジー」というキーワードのもとで推進し、従業員が短時間で最大限の価値創造を行うための改革を継続いたします。加えて、従業員が複数の専門スキルを身につける「多能工化」によって従業員自らの力を高めることで、従業員との「Win-Winの関係」も更に深めてまいります。

足元では、これまで想定しえなかったような自然災害が相次いでおりますが、こうした事業環境においてこそ、当社グループの社会的使命は拡大していくものと考えております。当社は今後もステークホルダーの皆様との共創によって「安全・安心・環境」という価値を社会に提供し、進化し続けることで、企業価値向上を実現してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

当第2四半期は、都市再開発や東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心に民間設備投資や公共投資は一定の水準を維持したものの、工事材料費や労務費の上昇が工事収益を圧迫するなど、厳しい状況も続きました。一方で、中期経営計画の重点施策である営業改革や開発改革が功を奏した結果、売上高は7,592百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益493百万円（同17.0%増）、経常利益520百万円（同22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円（同27.4%増）となりました。

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

総資産※・純資産・自己資本比率※

※2018年3月期以前の総資産および自己資本比率は、
税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴い、遡及修正しています。

連結キャッシュフロー計算書の概要

2019年3月期通期業績予想

売上高	16,800百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	1,210百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	835百万円

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

各種設備工事等の需要が民間では増加したものの、公共工事が前年を下回ったことから、主力製品である金属系あと施工アンカーの販売は微減となりました。また、耐震工事等が減少し、接着系あと施工アンカーの販売も微減となった一方、土木関連を中心に完成工事高が増加したことなどから、総じて堅調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は6,069百万円（前年同四半期比5.4％増）、セグメント利益は752百万円（同10.3％増）となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工ツール
- 確認試験機

●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 建築関連（耐震補強工事）
- 土木関連（一面耐震補強工事等）
- 太陽光関連

関連性の深いSDGs目標

機能材事業

電動油圧工具関連の販売が、国内を中心に好調に推移いたしました。一方、電子基板関連が前年並みで推移したほか、アルコール検知器の販売が減少し、FRPシート関連も二重床や防水樹脂の材料販売の終了により減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は1,523百万円（前年同四半期比14.1％減）、セグメント利益は143百万円（同32.8％減）となりました。

●FRPシート関連

●各種測定器、電子プリント基板関連

●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等

関連性の深いSDGs目標

TOPICS トピックス

展示会　2018年9月/東京ビッグサイト

アジア最大級の物流・ロジスティクス専門展「国際物流総合展2018」に出展

次世代に向けた点呼のあり方をコンセプトとし、
呼気アルコール検知器をはじめ、IT点呼システム等を出展いたしました。

製品情報　2018年4月

耐震補強用接合部材「ディスクシアキー」の適用範囲が拡大

飛島建設株式会社、株式会社大本組、当社の共同開発による
本製品について、適用範囲が拡大いたしました。

【拡大内容】
- 鉄筋のかぶり不足や大きな凹凸面にも使用可能
- 狭小部への注入作業性能とディスクシアキーの設置作業性能が向上

製品情報　2018年8月

呼気アルコール検知システムが自動車事故対策費補助金事業の対象機器に認定

国土交通省による平成30年度自動車運送事業者における自動車事故対策費補助金（過労運転防止のための先進的な取り組みに対する支援）事業において、当社製品が対象機器として認定されました。

【認定製品】
- 呼気アルコール検知器連動 IT点呼システム ALCGuardian® NET
- ALCGuardian® mobile TR-2

呼気アルコール検知システム ALCGuardian Net アルコガーディアン ネット

各事業拠点

管理拠点

呼気アルコール検知システム ALCGuardian mobile アルコガーディアン モバイル TR-2

製品情報　2018年10月

イージーアイアンカー EZI新発売

2つの施工完了を目視で簡単に確認できる、
イージーアイアンカー EZIを新発売いたしました。

【特長】
- 簡単（イージー）：アンカー挿入が容易で電動工具で簡単施工
- 目視（アイ）：施工者が施工完了を目視で確認できる
- 確認（インスペクション）：管理者が施工管理を目視で確認できる

QUESTIONNAIRE RESULTS 株主様アンケート結果のご報告

本誌「株主通信」第54期事業のご報告において実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。
以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

ご回答者様の属性等

アンケート回答結果

Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか?

昨年に続き「わかりやすかった」と「とてもわかりやすかった」の合計が約9割となりました。「とてもわかりやすかった」の更なる上昇を目指し、鋭意制作してまいります。

Q2 特に興味を持ったページはどこですか? (複数回答可)

Q3 今後、当社に何を期待しますか? (複数回答可)

Q4 当社株式の購入理由は何ですか? (複数回答可)

「将来性・成長性」が昨年に比べ4ポイント上昇し、「安定性・業界トップシェア」との合計が8割に達しました。皆様のご期待に沿えるよう、今後とも長期安定成長への取組みに注力いたします。

Q5 当社に対する不満はありますか？（複数回答可）

Q6 当社ホームページ、IRサイトについてご感想はいかがですか？

Q7 当社のIR活動についての評価を教えてください

昨年に比べ「満足」と「まあまあ満足」の合計が1ポイント増加したほか、「不満」が1ポイント減少した結果、全体的な満足感が上昇しました。更なるご満足をいただけるよう、引き続きIR活動の向上に取り組んでまいります。

役員（2018年9月30日現在）

代表取締役社長	洞下　英人
常務取締役	洞下　正人
常務取締役	八谷　　剛
社外取締役（常勤監査等委員）	松岡　省一
社外取締役（常勤監査等委員）	岩城　龍夫
社外取締役（監査等委員）	佐藤　　靖

株式の状況（2018年9月30日現在）

発行可能株式総数	34,000,000 株	株主総数	2,606 名
発行済株式の総数	8,745,408 株	単元株主数	1,653 名

大株主（2018年9月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
洞下　英人	1,157	14.15
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.81
有限会社サンワールド	680	8.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	386	4.72
サンコーテクノ社員持株会	337	4.13
新井　栄	262	3.20
洞下　照夫	215	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	206	2.52
佐藤　静男	191	2.34
株式会社みずほ銀行	178	2.18

（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。　2. 当社は自己株式（569 千株）を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

IR 情報はこちらをご覧ください

サンコーテクノ　検索　⇒ トップ画面 ⇒ IR 情報

INFORMATION

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（http://www.sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要（2018年9月30日現在）

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	312名（連結575名）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535　FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 三井住友銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等）、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社
持分法適用関連会社	株式会社サンオー
持分法非適用関連会社	株式会社イーオプティマイズ

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券：本店および全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。